

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」  
をハードウェアから開発する - グループ名： Group A

担当教員名：三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生 学籍番号 1018239 氏名 木島拓海

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0 回(10 点) ・ 1 回(5 点) ・ 2 回(0 点)
週報	7 /10	標準点：7 点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7 点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	9 /10	標準点： 7 点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	5 /10	標準点： 7 点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	6 /10	標準点： 7 点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	15 /20	標準 14 点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	17 /20	標準 14 点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	77 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

まず、週報に関しては、グループ週報に関しては不備なく提出期限までに提出したが、個人週報に関しては、後期の一部週報に活動期間を誤った期間で提出してしまったことや提出遅れがあり上記の評価とした。発表会に関しては、ポスターや動画等はわかりやすく聴講者に理解したと思える。前期とは発表の仕方とは大きく変更し十分な質疑応答をとることができ、アンケート結果からも聴講者に理解させることができたため上記の評価となった。外部評価は中間発表と期末発表からのアンケートから十分な検討を行なったが、店員ロボットの実証実験できず店舗からの評価がなかったため上記の評価となった。積極性・協調性、計画性に関しては、前期より対面は多くあったがオンラインも多く個人的には積極的より受け身になっていたと考える。成果に関しては、一番重要視していた首の内部機構などを完成させることができたため上記の評価となった。

## 3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名伊藤壺：

設計担当という仕事だけではなく、プロジェクト内の工房利用の管理を進んで行うなどプロジェクト全体の活動にも寄与していました。工房利用が制限される状況下で機構や外観を完成させるサポートをしてくれてありがとうございました。

サイン \_\_\_\_\_

コメンター氏名藤内悠：

同じ設計担当として助けられる場面が何度もありました。図面の作成にあたっての測量やMDF並びにアクリル板の準備、加えてロボット作成後に必要なフェルトを前もって大量に購入しておくなど製作を滞りなく進めることができたのは木島君のおかげです

サイン \_\_\_\_\_

コメンター氏名宮嶋佑：

後期では、対面での交流も多くアイデアに富んだ意見を多くもらいました。外観と機構という制約の中で、ここまで完成できたのも木島さんの意見があったからだと思います。

サイン \_\_\_\_\_

## 3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 鈴木昭二

教員サイン 高橋信行